あらぶんちょ散歩 vol.106

文京区

千石四丁目（せんごくよんちょうめ）

都営三田線の千石駅から巣鴨駅に向かって広がる千石四丁目。「千石」の地名は、旧小石川区を流れていた「千川」の千と、「小石川」の石を合わせて昭和42年（1967年）の住居表示実施に伴い名付けられたもの。千石四丁目内に2つの商店街が残る、情緒あるエリアです。

千石本町通り商店会のマスコットのミミズク。街路灯の上からみんなを見守っている!?

Map

❶ トレカルム

所文京区千石4-40-25
電03-3946-0271
時10:30～20:00
休不定休

❷ 雑貨店 百水

所文京区千石4-46-7 千石アパート201
電03-6912-1450
時木・金　17:00～19:30
土・日・祝12:00～19:00
休月～水

❸ グリルK

所文京区千石4-45-15
電03-3943-5760
時月～金 11:30～14:00(L.O.) 18:00～21:15(L.O.)
土・日・祝11:30～13:45(L.O.) 17:30～21:00(L.O.)
休なし

❹ そば処 松家

所文京区千石4-24-8
電03-3946-8946
時11:00～14:00 17:30～21:00
休日

❺ ゆみ's キッチン

所文京区千石4-43-5
電03-6304-1773
時17:00～24:30(L.O.)
休月

今月のエリアウォーク
3570歩
昔ながらの建物や商店街も残る、落ち着いたエリア

TOPIC 伝統の技を次世代に引き継ぐ路地裏の籐編み工房

2代目の木内友秀さんと3代目の木内秀樹さんが営む「木内籐材工業」は、関東ではここだけとなるオーダーの籐むしろをはじめ、家具やバッグなど、さまざまな籐製品を手掛けている。すべてが手作業の制作工程を経てつくられた製品は、まるで芸術品のような美しさ。オーダーものの家具の注文や、「座り心地を感じたいから」と工房に訪れるお客さんも多い。製品はホームページからも購入可能。

↑鼓椅子16,500円、籐バッグ（小）31,000円、籐バッグ（中）43,500円

木内籐材工業
所文京区千石4-40-24
電03-3941-4484
時8:00～17:00 ※来店は事前予約制
休土・日・祝
http://www.kiuchi-tohzai.co.jp

→伝統工芸士に認定されている2代目の木内友秀さん

SPOT 300年以上前の歴史を有する巣鴨大鳥神社の変遷

貞享5年（1687年）に巣鴨村の新左衛門が「巣鴨稲荷社」として創祀。嘉永2年（1849年）に当時の住職が大願を興し、「慈悲の手の内」という文書を書き記し「子育稲荷大明神」と改称。現在「大鳥神社商店街」となっている神社前の通りは「いなり横丁」「いなり小路」と呼ばれて賑わっていた。「酉の市」は、元治元年（1864年）から始まり、毎年多くの参拝客が訪れている。

長い歴史とともに現在まで続く巣鴨大鳥神社（上）と、子育て稲荷大明神（右）

巣鴨大鳥神社/子育稲荷
所文京区千石4-25-15
電03-3946-7927

←今年の酉の市は、一の酉が11/11(金)、二の酉が11/23(水)。深夜0時から翌日の夜まで開催される

マイタウンヒーロー 千石本町通り商店会 会長 加藤 良彦さん

顔の見える商店街、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指す

私自身がこの近くで生まれ育ったこともあり、「千石本町通り商店会」は、ずっと身近な存在でした。どのまちの商店街も抱えている問題だと思いますが、商店街の活性化と次世代へのつなげ方は今後の課題ですね。「千石本町通り商店会」も、ずいぶんと店舗が減りマンションが増えていますが、商店を営む人も、住んでいる人も、住みやすいまちにしたいという思いは共通です。お互いの顔が分かり、安心して生活できる商店街。誰かがあたたかく見守っているような“みまもり商店街”をコンセプトに掲げています。それには、人と人のつながりが大切。そのための拠点づくりやイベントは、商店街やまちの活性化に重要な役割を果たしていくと思っています。昨年からスタートした「ハロウィンで街をお散歩」は、子どもから大人までみんなで楽しめるイベントです。ぜひみなさんもお越しください!

↑10/15(土)～29(土)に千石本町通り商店会にて「ハロウィンで街をお散歩」を開催!

地域住人をつなぐ拠点に!

加藤さんが代表を務めるNPO法人「風のやすみば」の活動拠点。ワンコインの日替わりランチや困ったときのなんでも屋さん、レンタルスペース等、ご近所さんが集まる憩いの場。

コミュニティカフェ 風
所文京区千石4-5-2 水野ビル1階　電03-3943-8155
時9:30～17:00※ランチ11:30～13:30(なくなり次第終了)　休木・日・祝

←仲の良いスタッフとボランティアの方々。鈴木裕介さんは大学で福祉について勉強中

→日替わりランチ500円。お客さんにいただいた食材が登場することも

❶ トレカルム

まちの人々の生活に寄りそう本格フランス菓子店

「このまちを元気にしたい!」と、実家の金物屋を改装して2014年にオープン。地元密着をコンセプトに掲げ、オーダーケーキやパン、焼き菓子も製造。近くの店とのコラボ商品が登場することも! 店内にはカフェスペースも併設。

↑お店の代名詞のモンブラン518円。毎日20種類ほどのケーキが並び、3カ月で半数が入れ替わる

→ホテル西洋銀座やフランスで修業を積んだ木村忠彦さん。とても明るく気さくな人柄

❷ 雑貨店 百水

時間も場所も分からなくなる隠れ家みたいな雑貨店

小さなビルの2階にある、これまた小さな雑貨店。部屋いっぱいに集められた雑貨は、北欧ものやアンティーク、作家さんの作品や本など、山﨑さんのお眼鏡にかなったものだけ。一点ものが多いので、出会った時が運命です。

↑個性あふれる雑貨たち。展示スペースとしての貸し出しも行っている

→店主の山﨑佳代さん。お店にはなんと、山﨑さんの作品も!

❸ グリルK

並んでも食べたい! 唯一無二の絶品ハンバーグ

肉の部位によって変える挽き方、パン粉の状態や加える素材など、試行錯誤を重ねながら究極の味を追求し続けているハンバーグ専門店。ふわりとした食感や圧倒的な肉の旨味、これまで食べたことのないような美味しさに、ハンバーグの概念が変わるはず!

↗炭火焼ハンバーグランチクイーン（260g）1,680円。スープ、サラダ、ライス付き。スタンダード（160g）からポンド（450g）まで4サイズ、7種類のソースから選べる

→一切の妥協を許さず、美味しいハンバーグを模索し続ける、ミスターK氏

❹ そば処 松家

何を食べても美味しい! 人情味あふれるお蕎麦屋さん

長年通い続ける著名人もいる、隠れた名店。喉越しの良い二八蕎麦は、蕎麦の風味が上品に感じられる絶品!　10月の新蕎麦の時期には、十割蕎麦と一品料理、鍋、日本酒が堪能できる「新そばと越後の酒を楽しむ会」(1人5,000円・4人以上にて予約制)を開催。毎年参加するファンも。

↗ざる¥600。蕎麦は毎日2回手打ちし、出来立てを提供。一品料理も手作りにこだわる

→職人肌と朗らかな人柄でみんなから慕われている店主の杉田松治さん

❺ ゆみ's キッチン

気取らない雰囲気で楽しめる野菜が主役のバー&レストラン

山梨県韮崎市の農業法人「えべし」の野菜にほれ込んだオーナーのゆみさんが、「美味しい野菜を食べてもらいたい」との想いで今年8月にオープン。野菜の美味しさがダイレクトに伝わる創作料理と美味しいワインの組み合わせは、女子会にもぴったり! カウンター席もあり、女性1人でも楽しめる。

↗エディブルフラワーのビビンバ（スープ付き）¥1,200と、有機野菜のグリル バルサミコソース¥980。彩りもキレイで気分が上がる!

→週に2回は韮崎の農地に通うという、オーナーのゆみさん